

令和元年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み	
組織の基本方針又は使命 子供から高齢者まで、誰もが生涯にわたって健康で安心して暮らせる地域社会を目指し、健康福祉部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進すること。	1.民生児童委員一斉改選の実施	民生児童委員の全国一斉改選が行われるにあたり、本市各地区担当民生児童委員定数140名すべての選任を目指す。	6月～8月 民生委員全体推薦会及び地区別推薦会の実施 12月 一斉改選	令和元年 度 20	・第1回推薦会(7月)及び第2回推薦会(8月)を開催し、京都府へ推薦書を送付した。以降、欠員地区について、推薦委員による選任活動を実施。推薦会委員長による専決処分(8回)を経て、140名全員の推薦書を送付し、一斉改選基準日(令和元年12月1日)において140名の定員を充足するに至った。	A	
	2 地域生活支援拠点整備及び相談支援体制の再構築	障害者の重度化や「親なき後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害児者の生活の支援、提供体制を構築するもので、第5期障害福祉計画においても整備目標をかけている。	・京田辺市地域自立支援協議会主催の研修会の開催 ・京田辺市地域自立支援協議会専門部会での検討(2か月に1回) ・京田辺市内の社会資源の調査・把握及び整理	19	・地域生活拠点整備についての研修会を実施した(6月) ・自立支援協議会専門部会において、相談支援体制の再構築、緊急時の受け入れ等、市内の社会資源について把握、整備について協議した。	B ・緊急時の受け入れについての具体的な対応。 ・相談支援体制、委託先及び内容の整理。 ・来年度末までに、障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築をめざす。	

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】

令和元年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み	
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	令和元年 方針	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	3. 子育て世代包括支援センターの運営の充実	妊娠届時の早期から専任の相談員が関わり、面談を通じて全員に対してケアプランを作成し、スムーズに地区担当保健師へつないでいき、既存事業の更なる活用を図りながら、妊娠期から子育て期にわたって、伴走型の切れ目のない支援を行う。	・専任相談員及び保健師の研修 ・PT等新規事業取り組みへの検討 ・既存事業の精度向上への取り組み ・当該センター運営について、課題・改善点等の洗い出し、及び定期的な検証		・「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”」(BPプログラム)のファシリテーター養成講座に2名の保健師が参加し、次年度新規事業としての検討を進めた。 ・すべての妊娠届出受理時において(3月末現在545人)、マニュアルに沿って保健師による面談、リスクアセスメントを実施した。支援が必要であると判断した妊婦については全ケース支援を行った ・月1回課内での担当者会議、2か月毎の子育て拠点施設職員との連携会議を開催し、情報共有、課題や改善点等について検討した。	A	
	4. 認知症対策事業の充実	・認知症高齢者及びその家族への支援の充実	・サロン型認知症カフェの充実(専門家のいる団体への委託) ・リンクワーカー事業の啓発推進 ・認知症初期集中支援チーム体制の充実 ・SOSネットワーク等による徘徊高齢者の支援体制の充実 ・徘徊模擬訓練の充実		・認知症カフェを4カ所開催した。 ・リンクワーカー事業の広報をした。 ・認知症初期集中支援チーム医を1名増やした。 ・SOSネットワークへの協力企業を6社増やした。 ・花住坂で地域声かけ訓練を開催した。	A	・認知症カフェ、リンクワーカー事業、認知症初期集中支援チームの運用については、継続的に実施する。 ・地域声かけ訓練を継続する。

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】

令和元年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	施政元方針度	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	令和元方針度	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
1. 受動喫煙防止(環境整備・禁煙個別支援・啓発等の実施)	・健康増進法の改正に伴い、望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の人が利用する施設等の区分に応じ禁煙とする。また、喫煙者にはマナーの啓発や禁煙支援ツールの導入。	・公共施設における敷地内禁煙の推進及び上記以外施設での受動喫煙防止の啓発。 ・喫煙における健康への害や受動喫煙防止の啓発。 ・受動喫煙防止の指針等策定について検討。 ・禁煙マラソンの導入。			市施設は7月1日より原則敷地内禁煙とした。敷地内禁煙について市広報やポスター・チラシ等により啓発を行った。 市内各駅前を受動喫煙防止啓発区域を設定し、令和2年4月1日施行に向けた要綱策定を進めた。 啓発区域について駅前等に横断幕の設置及び市内企業や飲食店へ訪問、商工会加入店舗等にチラシ配布により広報啓発を行った。 禁煙マラソン実施に向けた調査を行った。	A	

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】